

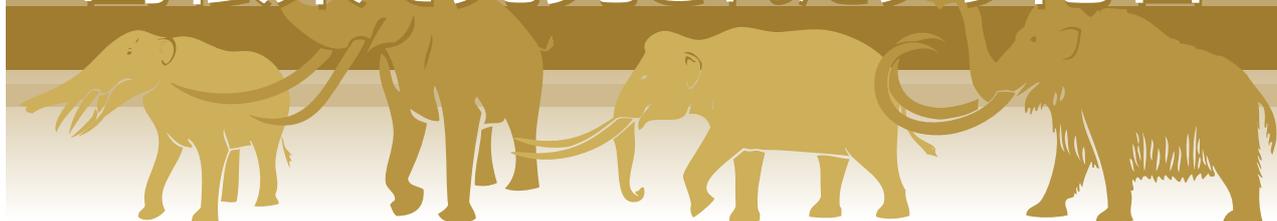
“石見の火山が伝える悠久の歴史” 日本遺産に選定

三瓶山の火山活動によって形成された三瓶小豆原埋没林や浮布池(上写真)などが“石見の火山が伝える悠久の歴史”のテーマで日本遺産に認定されました。火山に関わる22の構成資産からなり、三瓶山に関連するもののほか、大江高山火山の活動によってできた石見銀山、日本列島が生まれた時代の火山と関係する珪化木や福光石の石切場などが含まれます。全国104件の日本遺産の大部分は歴史系の文化財を中心とする中で、火山がテーマの

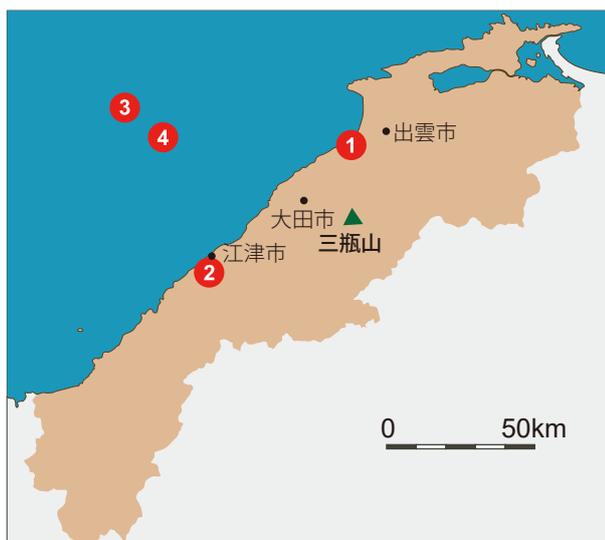
“石見の火山”はやや異質な印象ですが、そのストーリーは人の暮らしと深く関わるものです。それは、火山が作った地形や土質、鉱物資源を人が活かしてきた過程が、大田市の象徴的な景観である三瓶山の草原や、石見銀山の歴史につながるという内容です。

自然と人の歴史を一続きのストーリーとした日本遺産の認定を機に、新しい切り口での魅力発信が期待されます。

島根県で発見されたゾウ化石



今夏の企画展のテーマは、マンモスやナウマンゾウなど、化石になったゾウです。島根県でもゴンフォテリウム、ミエゾウ、ナウマンゾウ、マンモスという4種のゾウの仲間の化石が発見されています。ここでは、展示を先取りしてこの4種のゾウ化石にまつわる話題を紹介します。



島根県とその沖のゾウ化石発見位置

①ゴンフォテリウム(出雲市)、②ミエゾウ(江津市)、③マンモス(日本海海底)、④ナウマンゾウ[※](日本海海底)

※注 ④は展示予定の標本の発見位置。ナウマンゾウは他の地点からも発見されています。

ゴンフォテリウム

出雲市湖陵町の海岸ではゴンフォテリウムの臼歯の化石が発見されています。約1300～1200万年前に生息していたと推定され、島根で発見されたゾウの仲間では最も古い時代のもので、ゴンフォテリウムの仲間には多くの種類があり、古いタイプの種は下顎にも立派な牙があり、現在のゾウとは違った顔立ちでした。出雲市の化石は臼歯1本しかみつかっておらず、どのような種類だったか、どんな姿だったのか、残念ながら詳しいことはわかっていません。



コウガゾウの全身骨格標本(三重県総合博物館所蔵)

ミエゾウ

巨大なものといえばマンモスというイメージがありますが、実はマンモスはゾウの仲間です。マンモスは現生のアフリカゾウと同じくらいの大きさで、もっと大きなゾウが日本列島に生息していました。それがミエゾウで、牙の先端から尻尾までの長さが約7mもあったと考えられています。このミエゾウの化石が江津市都野津町で発見されています。石州瓦などに使う陶土の採取場で約300万年前の地層から出土しました。今夏は、江津市産のミエゾウの顎と歯の実物標本を展示します。また、ミエゾウの近縁種で体の大きさが近いコウガゾウの全身骨格を展示します。



江津市産のミエゾウの下顎骨化石



島根県沖産のマンモス臼歯化石(中央)(鳥取県立博物館所蔵)

マンモス

島根県沖の日本海海底からもゾウの仲間の化石がいくつか見つかっています。そのうちのひとつに、マンモスの臼歯の化石があります。このマンモスの化石は本州エリアでは唯一のものです。マンモスは、氷期に樺太経由で北海道まで移動して生息していたものの、本州には渡れなかったと考えられています。それがなぜ島根県沖で見つかったのか、謎を秘めた化石です。

ナウマンゾウ

島根県沖の海底から見つかっているゾウ化石は、マンモスが1点のほかは大部分がナウマンゾウです。出雲市沖から江津市沖を中心にいくつか見つかり、そのひとつにナウマンゾウの切歯(牙)の化石としては日本最大級(長さ230cm)のものがあります。

ナウマンゾウは15,000年前頃まで日本列島に生息し、全国各地で化石が見つかっています。



島根県沖産のナウマンゾウ切歯化石(鳥取県立博物館所蔵)
奥側の切歯を展示予定。長さが2.3mあり、最大級のもの。

夏期企画展

島根にもいた！ 失われたゾウの世界

開催期間：7月23日(木)～9月27日(日)

料 金：大人700円・小中高生200円

島根県産の4種を中心に日本そして世界にいたゾウの進化と絶滅の謎に迫る企画展。巨大なコウガゾウの全身骨格のほか、ナンマンゾウの顔面の生体復元模型、最大級のナウマンゾウの切歯ほか、多数の化石標本の展示がみどころです。

はやぶさ2が帰ってくる!

～はやぶさ2トークライブシーズン2～



小惑星探査機「はやぶさ2」
©池下章裕

小惑星探査機「はやぶさ2」は小惑星リュウグウを詳しく調べ、その岩石を持ち帰ることを目的として、2014年12月に打ち上げられました。そして、今年末、はやぶさ2がいよいよ地球に帰還します。これに先立ち、8月30日にトークライブイベントを予定しています。

今回のイベントでは、NECの若き技術リーダーで、はやぶさ2のプロジェクトで中心的な役割を果たしている益田哲也氏(島根県出身)をお招きし、はやぶさ2やリュウグウについての話題やプロジェクトにかける思いを伺います。リュウグウの表面は大きな岩にびっしりと覆われ、着地して岩石を採取するのは不可能ではないかと思われた困難を乗り越えた経緯など、興味深いお話にご期待ください。



運用管制室の益田さん(右手前)

©JAXA



小惑星リュウグウ

©JAXA、東大など

グウを探査し岩石を分析することで、太陽系の起源・進化や生命の原材料について解明することが期待されています。

小惑星リュウグウは地球に近い軌道で太陽の周りを回る、大きさ900mほどの小さな天体です。小惑星を作っている物質は太陽系ができたころからほとんど変化しておらず、特にリュウグウの場合は、生き物の体を作る物質である有機物を含むと考えられています。リュウ

 講演会 近畿大学のマンモス復活プロジェクト	8/1 [±] 13:00～15:30	近畿大学の「マンモス復活プロジェクト」について2名の教授を招いて開催する講演会。	定員：30名 料金：入館料	要予約
 夏の夜の昆虫観察	8/1 [±] 19:00～21:00	夜の森に出かけて昆虫を探します。トラップも使って、いろいろな虫を観察します。	定員：5家族 料金：100円	要予約
 親子で作ろう工作教室 ハーブせっけんをつくってみよう	8/2 ^日 13:30～14:30	ハーブ入りのせっけんを手作ります。	定員：6家族 料金：100円	要予約
 月イチガク⑤ 大田市の原始・古代	8/8 [±] 13:00～15:30	最近の発掘調査で明らかになった、縄文時代から中世頃までの大田市の歴史を紹介します。	定員：20名 料金：入館料	要予約 小学生以上対象
 化石発掘体験！	8/22 [±] 13:00～14:30	用意された石をハンマーで割って、中から化石を探します。見つけた化石は標本にして持ち帰ることができます。	定員：10名 料金：200円	要予約
 虫をさわってみよう！	8/23 ^日 14:00～15:00	生きた虫にさわってみるイベント。正しいつかみ方や虫の特徴、見分け方などを紹介します。	定員：6家族 料金：入館料	要予約 館内で実施します。
 はやぶさ2トークライブ	8/30 ^日 13:30～15:30	「はやぶさ2」プロジェクトの中心人物で島根県出身の益田哲也さんが、いよいよ帰還するこの探査機を語ります。	定員：40名 料金：入館料	要予約
 サヒメル科学探検隊 樹液に集まる生き物観察 ゾウの企画展で学ぼう	9/6 ^日 10:00～16:00	樹液に集まる昆虫の観察とサヒメルの企画展でゾウについて学びます。	定員：15名 料金：600円	要予約 小学校4～6年生対象
 石窯ピザ作り体験	9/9 ^水 13:30～16:30	石窯を使い本格ピザ作りに挑戦します。講師は大森町の「ベッカライコンディトライヒダカ」の日高さんです。	定員：10名 料金：1,200円	要予約
 月イチガク⑥ 温泉津町を歩く	9/12 [±] 14:00～16:30	石見銀山の港町「温泉津」と銀山街道の一部を訪ね歩くマチ歩きです。	定員：20名 料金：無料	要予約
 一日クラフトまつり	9/13 ^日 開館時間中	ゾウをはじめ動物をテーマにした工作を楽しむ一日。いろいろな工作のブースが出ます。	定員：なし 料金：100円	
 字幕付きプラネタリウム 月を見上げて	9/16 ^水 ～9/21 ^日 13:30～14:30	月をテーマにした字幕付きのプラネタリウムを上映します。	定員：40名 料金：入館料	

要予約 このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに電話で予約を受付します。



三瓶自然館：0854-86-0500



三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500



三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

新型コロナウイルス感染症への対応について

感染症への対策として、臨時閉館や展示やイベントを一部制限、中止する場合がございます。感染防止へのご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

なお、対応の内容は適宜ホームページでお知らせします。

島根県立三瓶自然館サヒメル

■開館時間

9:30～17:00

■休館日

毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)

※年末年始、その他、メンテナンス休館あり



三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>

編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団

〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501

<エコサがしまね> 〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 TEL 0852-67-3262

しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。

エコサがしまね(松江事務所)では、地球温暖化対策等の事業を行っています。